

# 一包化による品質劣化事例No.3



カルメテック錠5mg、テノミン錠25、ルバスク錠5mg  
シグマート錠5mg、ノキノン錠10mg、ナイキサン錠100mg  
トリプタノール錠10半錠

40°C±2°C/75%RH±5%RH/暗所にて1ヵ月保管した結果を、下記に提示した

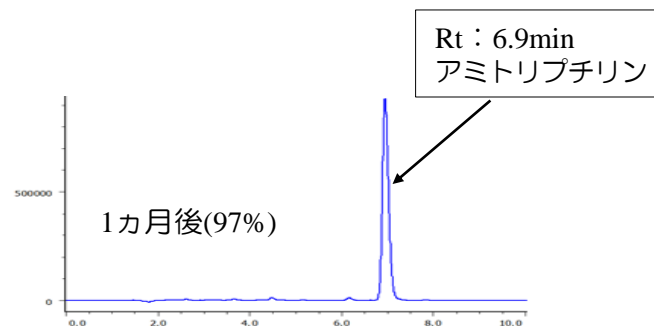
## トリプタノール錠10



1ヵ月後  
錠剤表面のフィルムコート  
に退色を認める



1ヵ月後  
錠剤内部は白色から汚青色  
に変色する



錠剤の変色は、食用タール色素に分類される合成着色料の青色1号が、フィルムコートより錠剤内部に湿潤し生じたものです。  
半錠に分割したことで、湿潤の割合が大きくなりました。  
主成分であるアミトリプチリンの含量は、提出日を100%とすると、1ヵ月後は97%で、ほとんど変化していません。